

フグのことをよく知ろう

ぶくぶくまんまるな体でコミカルに泳ぎ、大きな瞳でキヨロキヨロごっちを見てエサをねだる可愛さ抜群のフグ。そんなフグは淡水・汽水・海水とすべての水域に棲んでいるよ。淡水フグ代表 世界で一番小さなフグ「アベニーパファー」、汽水フグ代表 もっともかわいいフグ「ミドリフグ」を飼育してみよう。

フグの特徴



●歯が伸びる

強革な4つの前歯で甲殻類や貝類をバリバリ食べるんだ。ただ、この歯が伸びすぎて餌を食べられなくなるときがあるので、伸びた場合はニッパーや爪切りでカットしよう。貝など硬いものを食べると削れて伸びにくくなるよ。

歯のカット方法

ぬらしたティッシュでくるむ。



●コミカルな泳ぎ

一般的な魚は尾びれを使い泳ぐが、フグは尾びれを蛇にして背びれと尻びれのみで泳ぐんだ。だからヘリコプターのようなコミカルな泳ぎをするんだよ。

●おなかが膨れる

怒りやストレスを感じると、胃の腹面の「膨張のう」に空気や水を吸い込んで、ぶくっとお腹を膨らませるんだ。かわいいけれど要注意のサインなので、飼育環境をチェックしよう。

●じっと見てから食べる

エサに近づきじっと見たあと、ちょこちょこ口に入れたり出したりしながら食べるんだ。このとき食べこぼしが水槽に散らばり汚るので、マメな掃除と大きめのろ過フィルターを設置しよう。

フグの種類

汽水フグ



ミドリフグ

- 体長: 10~15cm
- 適温: 24~28度
- 水質: アルカリ性
- 塩分濃度: 海水の1/4濃度~海水
- 飼い方: 基本的に単独飼育



ハチノジフグ

- 体長: 8cm
- 適温: 24~28度
- 水質: アルカリ性
- 塩分濃度: 海水の1/4~1/2濃度
- 飼い方: 単独飼育

淡水フグ



アベニーパファー

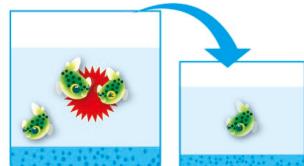
- 体長: 2~3cm
- 適温: 24~28度
- 水質: 淡水(弱酸性~中性)
- 飼い方: 複数飼育可能



南米淡水フグ

- 体長: 8cm
- 適温: 24~28度
- 水質: 淡水(弱酸性~中性)
- 飼い方: 複数飼育可能

いじめられたらすぐ隔離



複数飼育すると、気の弱いフグがいじめられる場合がよくあるよ。ストレスから拒食症になったり、傷から病気なつたりするので、いじめられていたらすぐに隔離しよう。回復後、隠れる場所を増やしてから元の水槽に戻すと、なかよく飼育できることが多いよ。

キヨーリンのおすすめ飼料

ミドリフグ向け

乾燥天然飼料

ミドリフグのごちそうエビ



内容量15g
486円(税別)

天然の淡水エビをフリーズドライ。浮上力が高く食べやすく水を汚しにくい。アベニーパファーも碎くと食べることがあるよ。

乾燥人工飼料

ひかりふくふくミドリフグ



内容量10g
350円(税別)

体長2~5cmのミドリフグが食べやすい微細フレークで、大好きなクリルをいっぱい配合。アベニーパファーも食べることがあるよ。

アベニーパファー向け

乾燥天然飼料

ひかりFD ビタミン赤虫



内容量12g
800円(税別)

冷凍天然飼料

クリーン赤虫 ミニキューブ



内容量40g
381円(税別)

浮上力が高くやわらかいフリーズドライなので、食べやすくしかも水を汚しにくい。※食べ過ぎると、ひっくり返ることがあるけど、じぎに戻るよ。

赤虫を3ステップ殺菌しており、病原菌を持ち込まないので安心して給餌できるよ。嗜好性抜群でアベニーパファーの大好物。